

公益社団法人 日本顕微鏡学会
会員各位

新春の候、皆様には益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。さて、先端光学顕微鏡分科会のワークショップを下記の通り開催します。皆様のご参加を、お待ちしております。

テーマ「先端光学顕微鏡技術・プローブ技術の開発による生命現象の理解」

概要：光学顕微鏡を用いた生物材料の可視化・計測技術の進歩は著しい。特に従来の解像度を超える光学顕微鏡の方法論の開発、個体深部を観察するための二光子顕微鏡技術の高度化、非染色組織構造の可視化手法などが実用化に向けて進んでいる。更にこのような技術を新しい光プローブと組み合わせることで、新たな観察方法や光操作技術が生み出される可能性がある。このような光学顕微鏡による計測・操作技術とその将来の可能性についてワークショップを開催する。

主催 日本顕微鏡学会 先端光学顕微鏡分科会
共催 JST CREST 生命動態 研究領域
企画担当 岡部（東大）

日時：2017年2月14日（火）13時30分－17時00分
場所：東京大学医学部教育研究棟2階 第1・2セミナー室
http://www.u-tokyo.ac.jp/campusmap/cam01_02_09_j.html

参加費無料
事前登録の必要はありません

13：30－14：20

小澤岳昌 東京大学大学院理学系研究科化学専攻分析化学研究室
「生細胞内の分子を観る・操作する新たな光技術」

14：20－15：10

塗谷睦生 慶應義塾大学医学部薬理学教室
「光第二高調波イメージングの細胞生物学研究への応用」

休憩 10分

15：20－16：10

根本知己 北海道大学電子科学研究所光細胞生理研究分野
「新規レーザー光技術を用いた多光子顕微鏡と生理機能の可視化」

16：10－17：00

岡田康志 理化学研究所生命システム研究センター細胞極性統御研究チーム
「高速超解像・1分子顕微鏡による細胞内物理化学計測」